

2022年3月 編集:国際開発救援財団(FIDR)

次のシーズンに向けて研修が始まりました！

今年1月よりベトナムでは新型コロナウイルスの感染者数が急増したことを受け、3月に予定していたソナラ省主催のイベントは中止となりました。それに代わり、事業の対象村で人数制限を行いながら、次のコーヒー栽培シーズンに向け、昨年の収穫状況の評価と4C認証の研修を行いました。

今回の研修では、村の地域リーダーとともに、今後の活動普及の担い手として活躍していくキーファーマー(篤農家)たちが参加しました。自己紹介から始まり、昨年のコーヒー収穫の結果について、相互に意見を出し合いました。昨年はコロナ禍の最中でもありましたが、天候に恵まれ、実が大きくジューシーなコーヒーの実が収穫でき、さらにはコーヒーの買取価格も例年より高かめであったことも、生産農家の収入増加に繋がりました。一方で、物価や燃料費が上昇したことから、運搬や農業資材費用も増加したことが課題として挙げられました。その後、新しいシーズンに向けて、チャレンジしたいこと、取り組みたいこと等についても参加者間で共有しました。



収穫後のコーナの木の状態を一緒に確認した農家のみなさん

研修の後半では、4C認証に関する理解をより深めるために、プロジェクトで作成した「私たちは4C農家！」という研修教材を用いて学び合いました。「4C認証は知っているが、詳細ルールが多いため、実践が難しい」という悩みを持っている農家さんも多くいます。4C認証への理解を深められるように、今後の研修でも継続して学び続けていきます。

研修教材「私たちは4C農家！」の試作版が完成しました

ソナラのコーヒー農家さんのニーズをもとに制作した、4C認証の基礎知識をまとめた研修教材「私たちは4C農家！」の試作版が完成しました。

この教材では、4C認証の特徴や規定、注意事項を簡潔な言葉でわかりやすく説明しています。また写真やイラストを取り入れるなど、読み書きが苦手な方でも理解できるように工夫しました。今回の研修では、参加者一人々にこの教材を配布し、みんなで全ページを読み上げ、自分たちの気づきや学びを共有しました。今回は、試行版ということで、直接、農家さんからの意見をいただく機会ともなりました。今後はさらに、農家さんの声を反映して、より役立つ研修教材にしていきたいと思います。この教材を持っている農家さんが自信をもって、「私は4C農家です！」と語れる日が来るのを楽しみにしています！



完成した「私たちは4C農家」の第1試行版



冊子と一緒に読んでいた農家さん